

2026衆院選 立候補予定者 政策アンケート (RBC・琉球放送)

西銘恒三郎 1954年8月7日生まれ 沖縄県出身
1973年 県立那覇高校卒業
1979年 上智大学経済学部卒業
1979年から沖縄振興開発金融公庫に務め1984年に西銘順治県知事の秘書に
1988年に県議会議員選挙初当選 その後4期連続当選
2003年に衆議院議員選挙初当選し7期務める 総務副大臣や経済産業副大臣 沖縄・北方担当大臣などを歴任

玉城県政の支持 支持する / 支持しない

支持しない
政治優先で県民の暮らしへの配慮が足りない。

高市政権の支持 支持する / 支持しない

支持する
「責任ある積極財政」・「国民の不安を希望に変える」・「スピーディーな決断」

今回の選挙戦の最大の争点は何ですか。

高市内閣の信を問う選挙。物価高対策。

最も重視する政策について選択肢から1つ選んでください。

①経済・雇用 ②米軍基地問題 ③安保政策・自衛隊配備 ④医療・福祉 ⑤教育・子育て ⑥沖縄振興計画 ⑦その他

①経済・雇用
賃上げ好循環社会を実現するため、経済成長で物価高を上回る所得向上！所得向上の環境整備、投資促進によって経済の成長力を上げ経済の好循環を図る。

普天間基地の辺野古移設計画についての政治姿勢を以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

①推進
危険な普天間飛行場返還の一日も早い実現を目指すには辺野古移設しかない。

南西地域の防衛力強化についての政治姿勢を、以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

①推進
尖閣諸島の現実や、台湾海峡の現実を直視すれば南西地域の防衛力強化で「平和」を永続させる事になると確信する。